

「消費生活センター」から身近な情報をお届け

警戒心を緩めたり、詐欺が可能かどうかをチェックしたりする電話で、身内になりすまし、1回目の電話では自身の電話番号が変わったことだけを伝え、やや時間をおいて2回目の電話で金銭を要求するものです。  
なかには指定された場所での現金の受け渡しをするのではなく、現金を自宅に取りに来る(奪いに来る)「アポ電強盗」

年々巧妙化して被害が後を絶たない高齢者を狙った詐欺ですが「アポ電詐欺」は最近ニュースにもなっており、今後増加する可能性があるため、注意が必要です。

『高齢者を狙うアポ電詐欺』

電話に出ないことが何よりも効果的な対策になるといえるでしょう。最低限、自宅の電話機には身内の電話番号や必要がある番号は電話機本体に登録しておく、登録していない番号や非通知などでかかってきた場合には、息子と名乗られても個人情報や自宅の住所などは絶対に言わないでください。また警察官や配送業者などが名前や住所を電話で聞いてくることは絶対にありません。

不審に思ったら消費生活センターや最寄りの警察に相談しましょう。

市民課消費生活センター 内線2531



『平戸よかよか体操』オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です！



『山田レディース・クラブ』

平成29年9月から山田婦人会で平戸よかよか体操を行う通いの場を始めました。婦人は65歳までですが、退会してもOBとして参加している人もいます。

皆さんは日ごろ車で移動している人ばかりで、運動不足を実感しており「筋力をつける」ということを目標に、健康で明るい生活を過ごすことができるよう毎週行っています。

婦人会という名前ではすこし堅いイメージがあったため、ソフトなイメージを持たせ誰でも気軽に参加できるように「レディース・クラブ」と団体名を名付けています。

「みんないきいき元気に」  
高齢者の通いの場訪問

平戸市では、高齢者がいつまでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。  
このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介します。

問 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) 内線2594

VOL.37

私と平戸!

vol.6

『さようなら』

「お元気ですか」。このあいさつが日記での最初の言葉でした。皆さんまだ覚えていますか。あつという間にもう最後の番が来ました。

この一年間広報ひらどを通して、中国の「伝統文化」「中秋節」「春節」や、今の中国や本場の中華料理などについて紹介しましたが、どれが一番印象に残りましたか。今日はまとめとして、ここに来てから、私にとってのTOP5を公表します。

- TOP1 一番楽しかったこと  
平戸に来て、ここにいる人々に出会ったこと。
- TOP2 一番悲しかったこと  
中学生交流事業の参加者が少なかったこと。
- TOP3 一番頑張ったこと



国際交流員 張 静 (チョウ・セイ) (中国出身)

台南との物産交流に携わったこと。  
TOP4 一番残念だったこと  
中国のSNSで平戸の公式アカウントを作成できなかったこと。  
TOP5 一番勉強になったこと  
国際交流員の研修での、専門的な翻訳通訳技術およびインバウンドについてのこと。

問 文化交流課交流推進班 内線2278

Interview

山田レディース・クラブ

代表 墨谷 久子さん (生月町)



以前は婦人会のメンバーで体操を行っていましたが、現在は会員以外の方の参加も募って活動をしています。また、平戸よかよか体操だけでなく、他の体操も取り入れながら週一回楽しく行っています。体操を通して少しずつ体が鍛えられている実感があり、体操を休んだ次の週は体が何となくきつい感じがします。

婦人会以外の人たちにも輪を広げたことで会員も増え、活動を継続できているので、声かけて本当に良かったです。この体操は自分たちのためにするものなので、これからも皆さんで「続けようね」と言っています。

活動日/毎週水曜

午後7時30分～午後9時

活動場所/生月船員福祉会館

開催地区/館浦・山田地区

代表/墨谷 久子

